

「Akita ふるさと活力人養成セミナー」

現地イベント企画書

カテゴリーNo.4 「道具」

ワラダの運動会



セミナー受講者： 古屋 睦子  
工藤 淳

# ワラダの運動会

## 開催の概要

- 日時 : 平成18年2月25日(土) 午前10時 ~ 午後3時30分  
会場 : 根子児童館(「ワラダ」作り体験)  
根子分館グランド(「ワラダ」の運動会)  
(荒天の場合、根子分館体育館で開催)  
参加費 : 1人 1,000円(昼食代・保険料を含む)  
準備するもの : 防寒具、長靴、着替えなど

## テーマ

米袋が俵だった頃、子ども達は俵のふた「サンダワラ」を投げて遊んだそうです。  
それでは阿仁では「ワラダ」を投げてみませんか。  
大人も子どもも留学生も一緒になって、冬の寒い一日を楽しく遊びましょう。

## 目的

マタギの道具「ワラダ」作りを体験し、遊ぶことで、展示や本だけでは伝わりにくい生の「マタギ文化」を継承し、将来の「マタギ」を掘り起こします。  
阿仁ならではの遊びとして定着する事で「あそこにいけばこんなことができる。」という地域資源として育てます。  
冬のイベントとして、集落のみんなで楽しめます。

## 対象

- 受け入れ側集落に住む子どもたち15名(子どもチーム)  
受け入れ側集落に住む大人15名(大人チーム)  
国際教養大の留学生10名と日本人学生10名  
(それぞれ5名ずつ「子どもチーム」と「大人チーム」の助っ人として合流)  
受け入れ側集落やその近隣に住むギャラリー20名程度



## イメージ

夕べまで降り続いた大雪もやみ、今朝は陽が差して良いお天気になりました。屋根まですっぽりと雪に埋まった根子児童館へみんなが集まりました。

暖かい座敷に集まったみんなを待っていたのは、「シカリ」の さん。お茶と漬け物をつまみながら、「マタギ」と「ウラダ」のお話を聞きます。地域の人々には当たり前の話でも、雪や「マタギ」が初めての留学生たちは、みんな興味しんしんの様子です。

お話の後は、「ウラダ」作りに挑戦しましょう。なかなかうまくできませんが、それはみんな一緒。今日作った「ウラダ」は家へ持ち帰って、また後で遊びに使いましょ。

お昼は、一足早く「マタギ」になったつもりで、地元のお母さん達が作ってくれたウサギ鍋や熊鍋を、お腹一杯食べました。

午後からは根子公民館のグラウンドでいよいよ「ウラダ」運動会です。チーム対抗で「ウラダ・ドッジボール」「ウラダ投げ距離競争」「マタギ障害レース」「ウラダ・リレー」まで楽しむのもうたたくたです。甘酒を飲んでようやく生き返りました。

競技が終わったら表彰式。優勝チームには「マタギ」の由来と権威が記された巻物が手渡されました。後はみんな記念撮影をして、暗くなる前に解散です。今日はお疲れ様でした！

## ポイント

この企画のポイントは、「**みんなが楽しむこと**」です。そこで、それぞれの参加者が楽しめるポイントは何か、考えてみました。

### 子どもたち

「ウラダ」作り体験 . . . . . みんなが体験。大変な作業はできあがっているものを使う。

大勢で食べる昼ごはん . . . . . 「マタギ」っぽい食材。お代わりができる鍋物。

雪の中で遊ぶこと . . . . . いつものメニューをちょっとアレンジ。

大人チームとの対抗戦 . . . . . がんばれば大人チームに勝てるくらいのハンデを設定。

### お父さん、お母さん

「ウラダ」作り体験 . . . . . 子どもたちとマンツーマンでサポート。

我が家の自慢料理の持ち寄り . . . . . なるべく1世帯1品をお願いする。

子どもたちが元気に遊ぶこと . . . . . 大人チームと子どもチームによる対抗戦

子どもたちと一緒に遊ぶこと . . . . . 子どもたちと一緒に遊ぶ競技を設定する。

### おじいさん、おばあさん

「ウラダ」作りを教えること . . . . . 「シカリ」の方のサポート役をお願いする。

孫たちが元気に遊ぶこと . . . . . 凍えずに見物ができる場所と暖房の効いた休憩所を設営

### 留学生、日本人学生

「マタギ」文化への触れ合い . . . . . 阿仁への移動中、「マタギ」に関する知識を紹介

「ウラダ」作り体験 . . . . . みんなが体験。大変な作業はできあがっているものを使う。

阿仁の郷土料理 . . . . . 「マタギ」っぽい食材。各家庭の味。

雪の中で遊ぶこと . . . . . 雪の中で行う特徴的競技を設定。

### ギャラリー

運動会の見物 . . . . . 凍えずに見物ができる場所を設営する。

雪の中で遊ぶこと . . . . . オープン参加競技を設定。



## タイムテーブル

時刻	内容
8:00	スタッフが根子児童館・根子分館へ集合、暖房や会場設営の準備を進める。
9:30	参加者受付開始
10:00	「シカリ」の方による「マタギ」と「ワラダ」のお話
10:45	留学生・日本人学生到着、みんなで「ワラダ」作り体験を始める。
12:00	昼食 . . . . .ウサギ鍋、熊鍋、おにぎり、各家庭からの持ち寄り料理
12:45	根子分館グランドへ移動
13:00	「ワラダ」の運動会開会式
13:15	団体競技（「ワラダ」ドッジボール、雪上ムカデ競争）
13:45	個人競技（「マタギ」障害レース、「ワラダ」射的）
14:15	オープン参加競技（「ワラダ」投げ距離競争）
	参加者・見学者へ甘酒の差し入れ
14:45	団体競技（「ワラダ」リレー）
15:15	表彰式、記念撮影
15:30	解散

## ルール

### 「ワラダ」ドッジボール

当たっても大丈夫なように、棒を使わない特製「ワラダ」を使ったドッジボール

10分ハーフの時間制で、内野に残った人数により得点

### 雪上ムカデ競争

5名一組で脚を結び合ったムカデ競争

### 「マタギ」障害レース

コースに置かれた「マタギ」の道具を着たり持ったりして完璧な「マタギ」になってゴール

### 「ワラダ」射的

設置した的に向けて「ワラダ」を投げ、落とす的の種類により得点

### 「ワラダ」投げ距離競争

「ワラダ」を投げてその飛距離を競う。（子どもチームにはハンデ付き）

誰でも参加できるオープン競技とする。

### 「ワラダ」リレー

5名1チームとなって、1番手が投げた「ワラダ」を2番手が新雪の中を走って取りに行き、逆方向へ投げ返す。それを3番手が走って取りに行き、というように5人が投げ、1番手がそれを取りに行きゴール。



# 予 算

## 【収入の部】

参加費	1,000円×50名=50,000円
スタッフ昼食費(自己負担)	500円×30名=15,000円
収入計	65,000円

## 【支出の部】

### 会場費

根子児童館、根子分館 - 円

### 協力者への謝礼

「マタギ」に関する講話、「ワラダ」作成指導 1名×2日×8,000円=16,000円

昼食の調理 10名×0.5日×8,000円=40,000円

### 材料費

「ワラダ」の材料 400円×50名分=20,000円

昼食の材料、調理経費 500円×80名=40,000円

各家庭からの料理の持ち寄り - 円

お茶、漬け物 2,500円

### 保険経費

傷害保険 50名×1日×50円=2,500円

支出計 121,000円

うち、「Akitaふるさと活力人養成セミナー」事務局負担分 56,000円

実支出額 65,000円

